

2024 年度 神戸市政策会議 概要

開催日時	2024 年 12 月 25 日（水） 15 時 15 分～15 時 35 分																			
出席者	市長、副市長、市長室長、企画調整局長、企画調整局副局長、企画調整局政策課長、行財政局長、行財政局副局長、健康局長、健康局部長（生活衛生担当）、健康局政策課長、健康局環境衛生課長、経済観光局副局長																			
議 題	事業承継も含めた銭湯への支援																			
提案概要	<p>【現状・課題】</p> <p>○銭湯利用者の減少や、施設の老朽化等により廃業する銭湯が増加している。（1996 年：97 施設 → 2024 年：29 施設）</p> <p>○市内銭湯へのアンケートを実施したところ、「銭湯の経営を続けていくうえで一番の課題」として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約 3 割が「老朽化に伴う大規模改修」 ・約 2 割が「事業承継を含めた後継者不足」 <p>と回答。</p> <p>○現在の設備改修補助制度※では、大規模改修には対応できない。 ※現在の設備改修補助制度＜20,000 千円＞ 老朽設備改修に要する経費について、内装・外装・給水設備・備品類のそれぞれの区分ごとに 2 分の 1 を助成。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 20%;">分 類</th> <th style="width: 30%;">項 目</th> <th style="width: 20%;">対象事業 上限額</th> <th style="width: 25%;">補助 率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">現 行</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">現行設備改修</td> <td>内装（タイルの張替え等）</td> <td style="text-align: center;">400 万円</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">1/2</td> </tr> <tr> <td>外装（煙突、壁、屋根等）</td> <td style="text-align: center;">400 万円</td> </tr> <tr> <td>給水給湯設備（ポンプ、循環ろ過器、ボイラー等）</td> <td style="text-align: center;">400 万円</td> </tr> <tr> <td>備品類（清掃用機器等）</td> <td style="text-align: center;">100 万円</td> </tr> </tbody> </table>					分 類	項 目	対象事業 上限額	補助 率	現 行	現行設備改修	内装（タイルの張替え等）	400 万円	1/2	外装（煙突、壁、屋根等）	400 万円	給水給湯設備（ポンプ、循環ろ過器、ボイラー等）	400 万円	備品類（清掃用機器等）	100 万円
	分 類	項 目	対象事業 上限額	補助 率																
現 行	現行設備改修	内装（タイルの張替え等）	400 万円	1/2																
		外装（煙突、壁、屋根等）	400 万円																	
		給水給湯設備（ポンプ、循環ろ過器、ボイラー等）	400 万円																	
		備品類（清掃用機器等）	100 万円																	

	<p>○一般公衆浴場が地域交流の場所として、また、災害時の入浴機会の提供、高齢者の健康増進や見守りなど、様々な役割も担ってきたという銭湯の重要性を踏まえ、銭湯を中心としたにぎわいづくり、生活困窮者対策、後継者対策、また、昔ながらの銭湯文化を守るという観点から、以下の通り提案した。</p> <p>【提案内容】</p> <p>○大規模改修支援 健康増進事業や介護予防事業等を実施できる場や住民同士の交流促進の場を提供する等、地域貢献度の高い浴場として施設を更新する銭湯を対象として、大規模な施設・設備改修の支援を拡充。</p> <p>○事業承継への支援 産業振興財団が実施する 100 年経営支援事業の継続</p> <p>(1)企業訪問・掘り起こし 中小企業等の訪問ヒアリングによって後継者不在企業を掘り起こし、経営者への意識づけを行う</p> <p>(2)専門家による訪問支援 中小企業診断士や公認会計士など異なる分野の専門家がチームを組み、多方面からの助言を行う</p> <p>(3)マッチング 後継者候補と後継者不在企業とのマッチングを無料で行うマッチング担当アドバイザー（中小企業診断士・金融機関 OB）を配置</p>
<p>会議結果 (主な意見等を含む)</p>	<p>全体の方向性については了。</p> <p>○今後の実施、検討にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献等の補助要件について早期に制度構築を進めること